

# 負の遺産も丸ごと体験 & 高床式ホームステイ



ゴミの山で生活する子供たち



地雷処理現場



小学校訪問



アンコールワット遺跡群



水汲みのお手伝い



村の子供たちとホームステイ宅で

## 参加費

11歳以下 295,000円

12歳以上 315,000円 \* 帰着日年齢

## 期間

平成24年3月26日(月)～4月4日(水)

\* 出発日の前日は、事前研修会です

## 対象

小学校5年生 ～ 高校3年生

## 定員

20名 (最少催行:6名)

## 場所

プノンペン、コンポンチャム、シムリアップ

## 協力

トロピアンコ村、CMAC(政府不発弾・地雷処理機関)

## ～ 特色 ～

- ★ホームステイは1家庭に原則2名
- ★小学校で日本文化紹介『折り紙、塗絵指導』
- ★農村でのんびり高床式生活体験
- ★政府機関CMAC 表敬&地雷処理現場視察
- ★ホームステイでは、毎日交流会
- ★アンコール世界遺産遺跡群見学
- ★ポルポト時代の負の遺産『キリングフィールド』、『ツールスレン』も見学

## プログラム

3/25 (日)	事前研修会
3/26 (月)	午後 成田空港出発(乗継) 夜 プノンペン空港到着 (ホテル泊)
3/27 (火)	終日 プノンペン市内視察 (キリングフィールド ゴミの山、ツールスレン、王宮見学等) (ホテル泊)
3/28 (水)	午前 CMAC表敬訪問 午後 村ファミリーとマッチング (ホームステイ)
3/29 (木)	日中 小学校訪問 (ホームステイ)
3/30 (金)	終日 村ファミリーと過ごす (ホームステイ)
3/31 (土)	午前 日本式カレーパーティー 午後 バスにてシムリアップへ (ホテル泊)
4/1 (日)	終日 アンコール遺跡群見学 (ホテル泊)
4/2 (月)	終日 CMAC現場視察 (ホテル泊)
4/3 (火)	日中 トンレサップ湖水上生活者視察 夜 シムリアップ空港出発(乗継)
4/4 (水)	昼 成田空港到着、通関後解散

\*CMACの都合により、日程が変わる場合があります。

## 体験記

## 『この夏見つけた宝物』 神奈川県 高3 女子

テレビなどで見て、興味があったカンボジア。一番印象に残っていることは、村でのホームステイだ。優しく、いつも笑顔の村の人たち。私たちが快く受け入れてくれた。水道や電気、冷蔵庫、電話、車…便利なものは何もなかった。私よりも小さい子供たちが、家の仕事を手伝っていたりもした。日本より貧しいかもしれないが、そんな事を感じなかった。家族団らんの時間、近所の人との交流、思いやりの心。現代の日本人が忘れてかけていることが、村では当たり前だった。個人の時間が増え、人とつながりがなくなってきているのではないかと、村での生活を通して感じた。あらゆる技術が発展し、生活には苦労しないが、愛に飢えている日本の子供。どちらが幸せなのだろう。学校で小学生たちと交流した。折り紙の授業では「教えて」「やって」とつんつんしてきたり、「見て、見て！」と完成したぬり絵をうれしそうに見せてくれた子供たちが、本当にかわいかった。そして、底抜けの明るさとニコニコの笑顔からパワーをもらった。「小学校の先生になりたい」という私の夢は、さらに強く大きくなった。その夢が実現したら、村の子供たちのようにキラキラ輝く素敵な目を持った生徒を育てたいと思った。数々のすばらしい遺跡を訪れ、様々な感情を抱くことができた。アンコールワットなどの遺跡の偉大さや素晴らしさは、もっとたくさんの人々に知ってもらいたい。それと同時に、命の尊さ、地雷の恐ろしさ、国民の安全で平和な生活を願う今日も命がけで活動をするCMACの方々がいること、毎日の生活のために少しでもお金を稼ごうと働く小さな子供たちがいることを知ってもらいたいと思った。私ができる第一歩は、今回感じてきたこと、学んできたことを自分の周りの人たちに話をしていくことだと思った。そして、この経験を人生の糧にして、何事にも突き進んでいきたい。たくさんの思い出と感動をくれたカンボジア、オークン！そして、共に過ごしたメンバーのみんな、リーダー、ありがとう！